

サイト作りました

ayu-mushi

Published

2016-10-5

Last Modified

2016-10-20

Source of This Page(GitHub)

<https://github.com/ayu-mushi/ayu-mushi.github.io/blob/develop/src/article/new-site-is-started.mdk>

Contents

1. 作った	2
2. 自己紹介	1
3. Madoko	??
3.1. 文献言及(citation)	??
3.2. 数式	2
3.3. リスト	2
3.4. 定理環境	2
3.5. 脚注	2
3.6. 自分で定義したやつのテスト	2
References	3

1. 作った

これからサイトをやっていきます。例えば記事とかを書きますよ。

この記事では、筆者のことで、サイトを作るときに使わせてもらった技術とを紹介します。

2. 自己紹介

ayu-mushiといいます。

Haskell、計算機科学などに興味があります。

あとは[トップページ](#)に使ってるSNSなどへのリンクが貼ってあるので見て下さい。

3. Madoko

Markdownに対し上位互換性があるマークアップ言語。公式サイトは[“Welcome to Madoko”](#)です。

BibTeXかCitation Languageかによる参考文献の管理、LaTeXによる数式描画、amsthmのhtml版、あらゆる要素のナンバリングと参照(番号は表示しないようにもできる)、をサポートしているため、学術文書の執筆に適しています。

同じソースからpdfもhtmlも出力できます。テストとして、[サイト作りました pdf版](#)としてこのページのpdf版をアップしました。LaTeXとXeLaTeXとが使えます。pdfで日本語を使う場合、XeLaTeXを使用し、フォントを指定する必要があります。具体的なコードは、[madokoを使う | 情報分析・システム開発のタロスカイ株式会社](#)を参照して下さい。

ブロックやインライン要素に対して、css風のマッチや、挿入・置換、などの機能があり、拡張性が高いです。置換では、有限回数展開するSKIコンビネータ計算が実装されているようです(Leijen, 2016), pdf p.94。SKIコンビネータ計算を実装したコード: http://madoko.codeplex.com/SourceControl/latest#test/new/extra_ski.text

ちなみに、設定は色々いじったのでこのサイトに変なところがあってもMadokoのせいとは限りません。自分の設定ファイルは[“ayu-mushi.github.io/myprelude.mdk at develop · ayu-mushi/ayu-mushi.github.io · GitHub”](#)として公開しました。

[このページのソースはGithubにあります。](#)

以下は機能の紹介とテストのために、サンプルを挙げます。

3.1. 文献言及(citation)

、Madoko Reference[[@Leijen201604](#)]を参照。
見よ!

ぐへへへ[[@Leijen201604](#)]。

例えば、Madoko Reference(Leijen, [2016](#))を参照。見よ!
ぐへへへ(Leijen, [2016](#))。

3.2. 数式

$\sum_{i=1}^n$

\sum_i^n

数式は、LaTeXまたはXeLaTeXで描画され、svg画像として出力されます。
また、MathJaxなどで数式を描画するような設定にもできます。 LaTeXやXeLaTeXの方は、ライブラリがそれらのものを使えるので、可換図式なども通常のLaTeXと同じように書けますが、面倒なのでサンプルは載せません。

3.3. リスト

- * A
- * B

被定義項A
: 定義項A
被定義項B
: 定義項B

1. A
2. B

- A
- B

定義項A
定義項B

1. A
2. B

3.4. 定理環境

~ Theorem [#javataro_thm; caption: "ジャバ太郎の定理"]

~~ Proof

すごい証明。

It is proof.

~~

~

**** Theorem [#javataro_thm].

Theorem 1. ()

Proof. すごい証明。
It is proof.

参照 Theorem 1.

3.5. 脚注

![^1]

[^1]: ちなみに、
脚注!¹

3.6. 自分で定義したやつのテスト

ルビ

Madokoの置換を利用して定義。 &source;が置換元の内容を表す変数。

```
.ruby { replace: "<ruby><rb>&source;</rb><rp>《</rp><rt>&rttext;</rt><rp>》</rp></ruby>" }
```

```
* [死喰い人]{.ruby; rtext: "デスイーター"}  
* [獅子]{.ruby; rtext: "ライオン"}
```

- 死喰い人《デスイーター》
- 獅子《ライオン》

今回使われたサンプルコード書法

今回使われたMadokoによるMadokoに対するサンプルコード書法は公式のレファレンスに載っているものを参考にして書きました。

```
Sample { replace: "~ Begin Sampleblock {.panel .panel-default}&nl;¥  
~ Begin samp-code-body {.panel-body}&nl;¥  
````madoko&nl;&source;&nl;````&nl;¥  
~ End samp-code-body&nl;¥
~ Begin samp-code-footer {.panel-footer}&nl;¥
&source;&nl;¥
~ End samp-code-footer&nl;¥
~ End Sampleblock&nl;¥
"}
}
```

サンプルコード書法のサンプルコード

```
~ Sample
!!
δ
```

---

<sup>1</sup>ちなみに、

-----そう  
.....なんだって  
~

\*\*!!\*\*

&delta;

-----そう  
.....なんだって

こんにちは!!  
δ --そう .....なんだって

## References

- [1] Daan Leijen. “Madoko Reference.” Microsoft Research. Apr. 2016.  
<http://research.microsoft.com/en-us/um/people/daan/madoko/doc/reference.html>. ↗